

## 【24 卒】「このインターンはちょっと…」トップ学生が気にするインターンの失望ポ

### イント <ワーク編>

STUDENTS' REPORT のご提供情報は、独自に組成・運営するトップ学生パネル（レビュアー）から収集しています。

編集部に寄せられる 24 卒トップ学生のインターン評価のうち、今号では先月(11/30 号)に引き続きメインプログラムである「ワーク」に注目。

前は「評価ポイント」に焦点を当てましたが、今回は「**失望ポイント**」に注目しました。

- 【1】人数が多すぎて議論しにくい
- 【2】学生レベルに差がありつまらない
- 【3】納得いく成果を出すには時間が足りない

今回行ったアンケートでは、この3点に不満が集中しました。

そのほか「個々人へのフィードバックがない」「何を評価しているのか曖昧」など、フィードバックへの不満もよく聞かれるところです。

これらの失望ポイントは毎年定番とも言えるもので、1、2年で大きく変わるものではありません。とはいえ、次年度に向けて実際に改善するには社内リソースが足りないのも実情かと思います。

STUDENTS'REPORT では、個別事情を踏まえたご助言や、参考事例の紹介も行っています。個別具体的なご相談については別途お問合せください。

support@pivot-inc.co.jp

.....

---

【本資料に関するお問合せ】STUDENTS' REPORT 編集部 [support@pivot-inc.co.jp](mailto:support@pivot-inc.co.jp) / 050-3649-7671

©株式会社ピボット「STUDENTS' REPORT」は株式会社ピボットの著作物です。会員以外の閲覧および無断転送、複製、転載はご遠慮ください

### **【失望ポイント1】人数が多すぎて議論しにくい**

概して6人以上のグループワークを行うインターンでよく指摘され、今回も同様の傾向が見られました。

学生からは「議論を進めるのが大変」「発言が一部の学生に偏ってしまっていた」「もっと良い内容にできたのに…」等の意見が寄せられています。

人数が多いことで時間内に合意形成がうまくできず消化不良感が残ってしまうことや、発言の偏りに対する不公平感が不満の原因になるようです。

特にオンライン開催のケースでは、「学生同士のコミュニケーションが取りづらかった」「発言がかぶったりして変に遠慮することが多く、会話がつながりにくかった」との指摘もありました。グループ人数やメンバーのバランスに対面以上の配慮が求められます。

内容や日数にもよりますが、「1グループ5人以下に抑えること」がひとつの目安になると思われます。

### **【失望ポイント2】学生レベルに差がありつまらない**

こちらは面接系の選考がない1day インターンなどでよく指摘されています。

学生からは「グループメンバーが積極的ではなく、一部の人のみで議論が回る」「議論のスピードが上がらない」という意見が目立ちます。

志望度や議論の慣れ度合いの違いから発生する「積極的にワークに参加しない／できない学生」が不満の原因となっていると推察されます。

学生レベルを揃えるには面接でのふるい分けが有効ですが、1day インターンでの高負荷な選考は、忌避されがちなことも事実。グループワークに替えて個人ワークを導入する、チームビルディング上の工夫などで対処したいところです。

さらに、1day の内容に不満を感じがちな優秀層に対しては、より選別性の高いセカンドインターンなど「別プログラムとの連携」を用意することも一案です。

---

【本資料に関するお問合せ】STUDENTS' REPORT 編集部 [support@pivot-inc.co.jp](mailto:support@pivot-inc.co.jp) / 050-3649-7671

©株式会社ピボット「STUDENTS' REPORT」は株式会社ピボットの著作物です。会員以外の閲覧および無断転送、複製、転載はご遠慮ください

### **【失望ポイント3】納得いく成果を出すには時間が足りない**

1day、複数日程のインターンともに見られた指摘ですが、ニュアンスは少し異なります。

1day では「もう少し考える時間があれば成果物が充実したのに…」 「ワーク時間が短くアイデア出し大会になってしまっていた」など、【失望ポイント1】でも挙げた消化不良感や、「表面的な理解しかできていないかもしれない…」という不安が失望要因のようです。

一方、複数日程では「正式なインターンの時間以外にも作業しなければならず大変だった」という「サービス残業的な時間外活動」が不満の原因となっているケースが見られました。

対策の参考になりそうな学生の声を挙げてみます。

「時間制限や参加者のレベルを考慮して、（課題解決のため）利用できる手法などは数種類に限定したものにしておしかった」

「時間がタイトになってしまったので、冒頭の説明で目安となるペースを提示してくれたほうが良かった」

「（1回3分×複数回のグループディスカッションという設計で）グループディスカッションの回数を減らす代わりに、1回の時間を長くするなどの工夫があるといいと思った」

時間外活動はグレーのまま放置すると、会社自体のブラック体質を疑われる恐れもあるため、時間内に消化できる量にした上で「時間外活動の禁止」を明示するなど、設定をオープンにすることが望まれます。